

地域防災計画※（素案）について

（※長野市地域防災計画及び長野市水防計画）

- 1 新たに明記するもの
- 2 従来の内容を整理しまとめたもの
- 3 資料編に追加するもの

次ページ以降で、項目ごとに下記のように記載しています。

○-○ 項目名	新旧対照表 ○～○ページ
(計画内の章・節)	(新旧対照表の項目No.) <○○>
変更点の概要	

※修正の背景を記載しています

- <アセス> - 「防災アセスメント」調査結果を踏まえた修正
- <法令> - 防災関係法令改正、防災基本計画等の修正
- <県計画> - 長野県地域防災計画、長野県水防計画との整合
- <検証> - 令和元年東日本台風災害検証報告書の課題
- <その他> - その他

1-1 女性の視点などを取り入れた災害対策の推進

新旧対照表 1ページ

(震-1章2節) (震-総-4) <法令><県計画><その他>

災害対策においても、性別・世代等を超えた様々なニーズに対応することが必要であるため、男女共同参画の視点を反映させた防災体制及び環境の充実を図るよう、新たに重点項目へ追加。

1-2 専門チームの設置

新旧対照表 2~3ページ

(震-3章2節ほか) (震-応-10,11ほか) <検証><その他>

検証報告書で課題として挙げられた項目に対する改善策として、部局横断的に業務ごとの専門チームを設置し、迅速な災害対応に繋げることを記載。

(避難所開設チーム、避難所運営チーム、物的支援チーム、人的支援チーム等)

1-3 避難所開設マニュアル、避難所運営マニュアルに基づいた運用

新旧対照表 4~7ページ

(震-2章10節,3章11節,風-3章12節ほか) (震-予-21,震-応-48,風-14ほか) <検証>

令和元年東日本台風災害時の課題等を踏まえ、従来のマニュアルの見直しをおこなったため、これらマニュアルに基づいて避難所の開設・運用をおこなうことを掲載。

また、震災時と風水害時で避難所開設手順が異なることから、風水害編独自の記述を追加。

1-4 被災した観光地の復興

新旧対照表 8ページ

(震-4章7節) (震-復-13) <県計画>

被災した観光地の早期復興、風評被害の防止のため、被災した観光地に対して総合的な支援を行うことについて、県地域防災計画を踏まえ、節を新設して掲載。

1-5 南海トラフ地震臨時の運用

(震-5章全体) (震-南-1) <その他>

平成29年に「南海トラフ地震に関連する情報」の運用開始に伴い、東海地震のみに着目した「東海地震に関連する情報」の発表を行わなくなったことから、「東海地震事前対策」の章を削除し、「南海トラフ地震臨時の運用」の章を新設し掲載。

1-6 防災気象情報の提供

(風-3章2節) (風-7) <県計画><その他>

気象庁が発表する防災気象情報について、前回の改定以降に運用開始や変更となった情報（顕著な大雨に関する情報、危険度分布（キキクル））について掲載。

1-7 一時滞在施設の設置

(震-2章10節, 3章11節) (震-予-24,震-応-50) <検証>

信州新町（国道19号）において、雨量等の幹線道路の通行規制による帰宅困難者に対し、公共施設を一時滞在施設として開設した事例について掲載。

2-1 要配慮者利用施設における対策の整理

新旧対照表 9ページ

(震-2章7節, 2章36節) (震-予-16, 震-予-47) <その他>

「企業防災に関する計画」の節に記載していた避難確保計画の策定に関する内容について、より関連性の高い「要配慮者支援計画」の節に移記。

2-2 受援計画の反映

新旧対照表 10ページ

(震-2章4節, 3章3節) (震-予-9, 震-応-16) <その他>

令和3年3月に長野市受援計画を策定したことから、受援の調整等について「長野市受援計画」に基づいて実施するよう加筆。

2-3 物資に関する記述の整理

新旧対照表 11~12ページ

(震-2章12節, 14節 等) (震-予-26, 震-予-27 等) <その他>

食料品の備蓄や調達に関するものと、生活必需品に関するものをそれぞれ内容を分けて明記し、物資に関する対策等を整理。

2-4 災害廃棄物処理計画の反映

新旧対照表 13~14ページ

(震-3章18節) (震-応-73) <その他>

災害廃棄物処理を具体化する「長野市災害廃棄物処理計画」に基づき実施することを加筆。

2-5 避難に関する記述の整理

新旧対照表 15~23ページ

(震-3章11節) (震-応-42~46) <検証><その他>

避難に関する基本的な考え方を示すため、「避難の基本方針」を新たに記載。

また、検証報告書で課題として挙げられた項目(避難指示の内容、避難指示の解除等)に対する改善策を追記。

2-6 ボランティア活動の環境整備、受入れ体制

新旧対照表 24~25ページ

(震-2章37節, 3章37節) (震-予-48, 震-応-109~110) <検証><その他>

情報共有会議の整備やボランティア団体とのネットワークづくりなど、検証報告書で課題として挙げられたボランティアに関する項目に対する改善策を追記。

2-7 義援物資について

新旧対照表 26~27ページ

(震-3章15節, 38節) (震-応-65, 震-応-111) <その他>

従来は義援物資を義援金と同一の節に記載していたが、一元的な対応に繋げるため、物資についての記述を「生活必需品の調達供給活動」にまとめて記載。

2-8 タイムラインについて

新旧対照表 28ページ

(風-2章1節) (風-3) <その他>

R3年度に「千曲川・犀川流域（緊急対応）タイムライン」が運用開始となっており、また、マイ・タイムライン、コミュニティ・タイムラインの取組みも進めていることから追記し、整理。

2-9 その他文言の整理

<その他>

「など」の表記を「等」に統一、庁内の機構改革による部署名の変更等を整理。

3-1 災害時における応急対策業務に関する協定締結先リスト

(震-1章3節, 3章3節) (震-総-5) <その他>

協定締結先は随時更新されることを踏まえ、資料編に協定締結先を明記し、毎年更新していく。

3-2 地区防災計画を作成した自主防災組織一覧

(震-2章41節) (震-予-51) <法令><その他>

作成済みの地域の地区防災計画について、資料編に掲載。

3-3 長野市災害廃棄物処理計画

(震-2章34節, 3章18節) (震-予-45, 震-応-73) <その他>

災害廃棄物に関する災害対応については、上記計画に基づく内容を基本としているため、計画を資料編に掲載。

3-4 要配慮者利用施設一覧(学校施設の掲載)

(震-2章7節)(震-予-16) <その他>

資料編に掲載されている要配慮者利用施設一覧に、学校施設（小中学校）を追加。